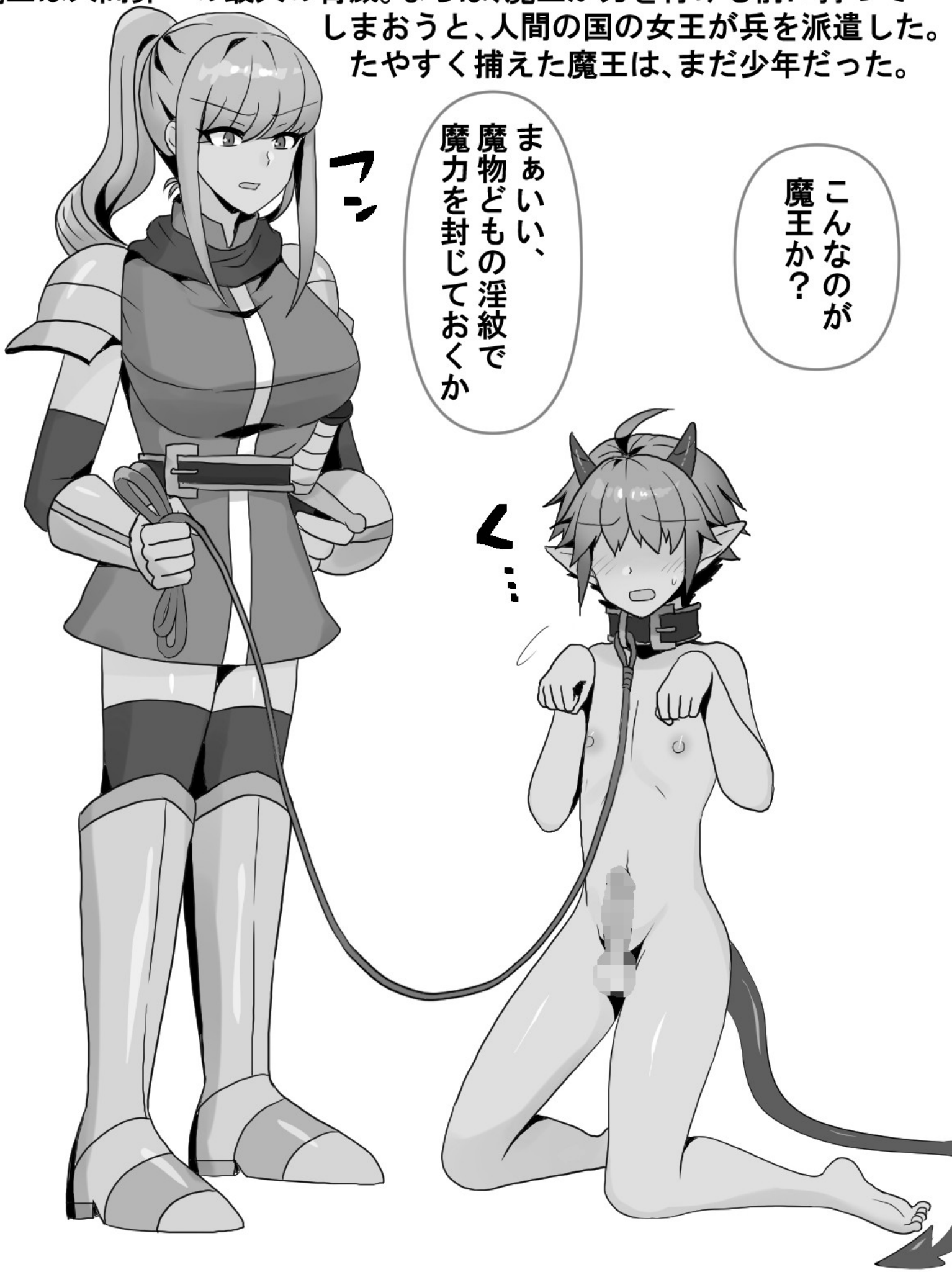
魔王は人間界への最大の脅威。ならば、魔王が力を付ける前に狩ってしまおうと、人間の国の女王が兵を派遣した。
たやすく捕えた魔王は、まだ少年だった。





兵たちは、これまでさんざん魔物にてこずらされてきたため、
拍子抜けして、次々と侮蔑の言葉を投げかけた。

魔王は人間界への最大の脅威。ならば、魔王が力を付ける前に狩ってしまおうと、人間の国の女王が兵を派遣した。
たやすく捕えた魔王は、まだ少年だった。





兵たちは、これまでさんざん魔物にてこずらされてきたため、
拍子抜けして、次々と侮蔑の言葉を投げかけた。

ふがいない魔王の様子を不審に思った兵たちは、本物かどうかを尋問することにした。
しかし、王女からは無傷で王城に引き立てるようにと命令されている。



兵たちは、淫紋によって勃起させられている魔王のち〇ぽを握りこみ、激しく扱く。




貴様が本物だろうと
偽物だろうと、
嘘を吐く余裕がない
ぐらい追い詰めてやる
おほおぉっ♥
やっ、
やめろぉっ♥
そうすれば
貴様の言葉を
信じてやるぞ
おほぉぉぉ
ピュルルルン
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
グチュン
グチュン

魔王は、真偽を確かめるために、性的な拷問を受けることになった。
しかし、どうやら兵士たちはこの拷問を楽しんでいるらしい。




ほら、本当のことを話してしまいなさい
隠すとためになりませんよ？
貴方みたいな情けないボウヤが魔王のはずがありませんものね
もっとも、魔王でないのなら連行せずに処刑してしまいますけれど
ひっ…！



兵たちは、憎き魔物どもの親玉である魔王を辱めることに、
どこか背徳的な快感を覚えているのだった。

魔王は、真偽を確かめるために、性的な拷問を受けることになった。
しかし、どうやら兵士たちはこの拷問を楽しんでいるらしい。




ほら、本当のことを話してしまいなさい
隠すとためになりませんよ？
貴方みたいな情けないボウヤが魔王のはずがありませんものね
もっとも、魔王でないのなら連行せずに処刑してしまいますけれど
ひっ…！



兵たちは、憎き魔物どもの親玉である魔王を辱めることに、
どこか背徳的な快感を覚えているのだった。

魔王かもしれない魔物が捕えられたと聞き、兵たちが駐屯している村の住民たちも、様子を見に連日訪れるようになった。




ねぇ、ボク？
どうしてこの村にも
兵士にも女しかいないのかって思ってるでしょう？
魔物との戦闘で、
男はいなくなってしまったの
だから、みんな
魔物の事が大嫌いなのよ


だから、ついつい
意地悪したく
なっちゃうのよねぇ
王女様の命令だから、
傷はつけないけど
あらあら、
こんな程度で
腰を振っちゃって
はぁ
はぁ
ヤク
ヤク
ヤクヤクヤク
ずいぶん
みっともない
魔王様よねぇ？


あはは、こんなのでイッちゃった♥
惨めな気分よねぇ？
いいわ、いくらでもイカせてあげる♥
お」
おほお」
ビクン
アヘ」
ビクン」
プルルルル」
ビクン」
コキョ」
コキョン
コキョン」
ビクン」
自分が無様な捕虜だという事を思い知らせてあげるから

女たちは魔王の事を憎んでいたが、
同時に、久々に見る男の身体に欲情している様子だった。
性的拷問は、徐々に肉欲のはけ口の
様相を呈していった。




ほらほら、
人間のおっぱいで
責めちゃうよ～♪
あっ
あっ
魔王のくせに
興奮してんじゃ
ないわよ
タプ
タプ
クネ
クネ
乳首ビンビンに
勃起してる～
ウケるんだけど



まだ成長しきっていない魔王の身体は、もはや人間の女たちの玩具にされているのだった。

魔王への拷問は、女たちが入れ代わり立ち代わり訪れるので、
寝る間もないほどだ。




魔王なら、これぐらい耐えられるよねぇ？
あっ…
ちゅうう…
フフ…
やっ、やめろぉっ♥
フフフ、耐えないと処刑かな～♥
そっ、そんなっ！いっ、淫紋のせいでっ！


おふ
おおおっ
おっ
ガクン
ガクン
ガクン
ガクン
ガクン
ガクン
あらら♥
イッちゃった～♥
じゃるるるっ
プチュ
やめっ♥
こっ、これはっ♥
違っ・・・♥
仕方ないなぁ♥
もう一回チャンスね♥
ほら、我慢我慢♥
あっ♥ あっ♥
いっ、今吸ったらっ♥
おぉおっ♥
また出るぅうっ♥

村の女たちは、明らかにこの拷問を楽しみ、復讐心と加虐心を満足させている様子だ。
魔王であることをいくら訴えても、誰も聞く耳を持たなかった。
魔王であることを認めてしまえば、
王女の待つ城へと
連行するしかないからだ。




ほら、今日もお射精の時間だよ～♥
ビクン
あっ
あっ
ウフフ
クリュ
クリュ
あっ♥　やっ、やめろっ♥
いっ、いい加減にしろよっ♥
口の利き方がなってないわねぇ？
お仕置きが必要みたい



淫紋の効果で、魔王は終わりなく射精させられ、慰み者になるのだった。

村の女たちは、明らかにこの拷問を楽しみ、復讐心と加虐心を満足させている様子だ。
魔王であることをいくら訴えても、誰も聞く耳を持たなかった。
魔王であることを認めてしまえば、
王女の待つ城へと
連行するしかないからだ。




ほら、今日もお射精の時間だよ～♥
ビクン
あっ～
あっ
ウラ
クリュ
クリュ
あっ♥　やっ、やめろっ♥
いっ、いい加減にしろよっ♥
口の利き方がなってないわねぇ？
お仕置きが必要みたい



淫紋の効果で、魔王は終わりなく射精させられ、慰み者になるのだった。

村の女たちは完全に尋問の意味を見失っていたが、兵たちはさすがに真偽を質すことを忘れてはいない。
しかし、今の状況を面白がっていることは、村の女たちと同様だった。




尋問のされすぎですっかり尻の快感に目覚めたようだな
フフン
こんなものでも感じてしまうらしい
はうっ
ズプッ
何か言うことはないのか？喋ってみろ



いくら真実を答えても、兵たちは信用しようとしない。
この尋問には、正しい答えなど始めから存在しないのだった。

村の女たちは完全に尋問の意味を見失っていたが、兵たちはさすがに真偽を質すことを忘れてはいない。
しかし、今の状況を面白がっていることは、村の女たちと同様だった。




尋問のされすぎで
すっかり尻の快感に
目覚めたようだな
フフン
こんなものでも
感じてしまう
らしい
ズプッ
はうっ
何か言うことは
ないのか？
喋ってみろ



いくら真実を答えても、兵たちは信用しようとしない。
この尋問には、正しい答えなど始めから存在しないのだった。

魔王らしき魔物を捕らえたという報せからいっこうに進展がなく、
しびれを切らした王女から使いが来て、
魔王はようやく城へと
連行されることになった。




鞍におもちゃを付けてやったぞ
貴様はこれが好きらしいからなぁ
城までの道中、近隣の町や村から見物人も来るだろう楽しませてやるんだな
はっっ
ズポン

城までの距離は、軽く２０キロはある。その間中、揺れる馬の上で耐え続けなければならないのだった。


止めてくれっ♥
あっ、イクっ♥
イクぅっ♥
おっ
おっ
んおおお
ビクッ
ビクッ
ビクッ

魔王らしき魔物を捕らえたという報せからいっこうに進展がなく、
しびれを切らした王女から使いが来て、
魔王はようやく城へと
連行されることになった。




鞍におもちゃを付けてやったぞ
貴様はこれが好きらしいからなぁ
城までの道中、近隣の町や村から見物人も来るだろう楽しませてやるんだな
はっっ
ズポン

城までの距離は、軽く２０キロはある。その間中、揺れる馬の上で
耐え続けなければならないのだった。


止めてくれっ♥
あっ、イクっ♥
イクぅっ♥
おっおっおおお

何とか城にたどり着いても、魔王の苦難は終わらない。




魔物に触るなんて
嫌よね～
こんな子足で十分
こんな所で
おち〇ちん
勃起させてる
なんて
やだ、ちょっと
何かビクビクしてない？
はしたない
これで魔王なの？


あははっ、
ちょっと擦ったら
何か出てきたんだけど♥
も～、これじゃ
きれいにならない
じゃない
もっと擦れば
いいんじゃないの？
きれいになるまでさ
そうよね
もっといっぱい
磨かなくちゃ♥
シュッ
シュッ」
サワ」
サワ」
スリ」
スリ」
ビク」
ビク」
おっ
おっ

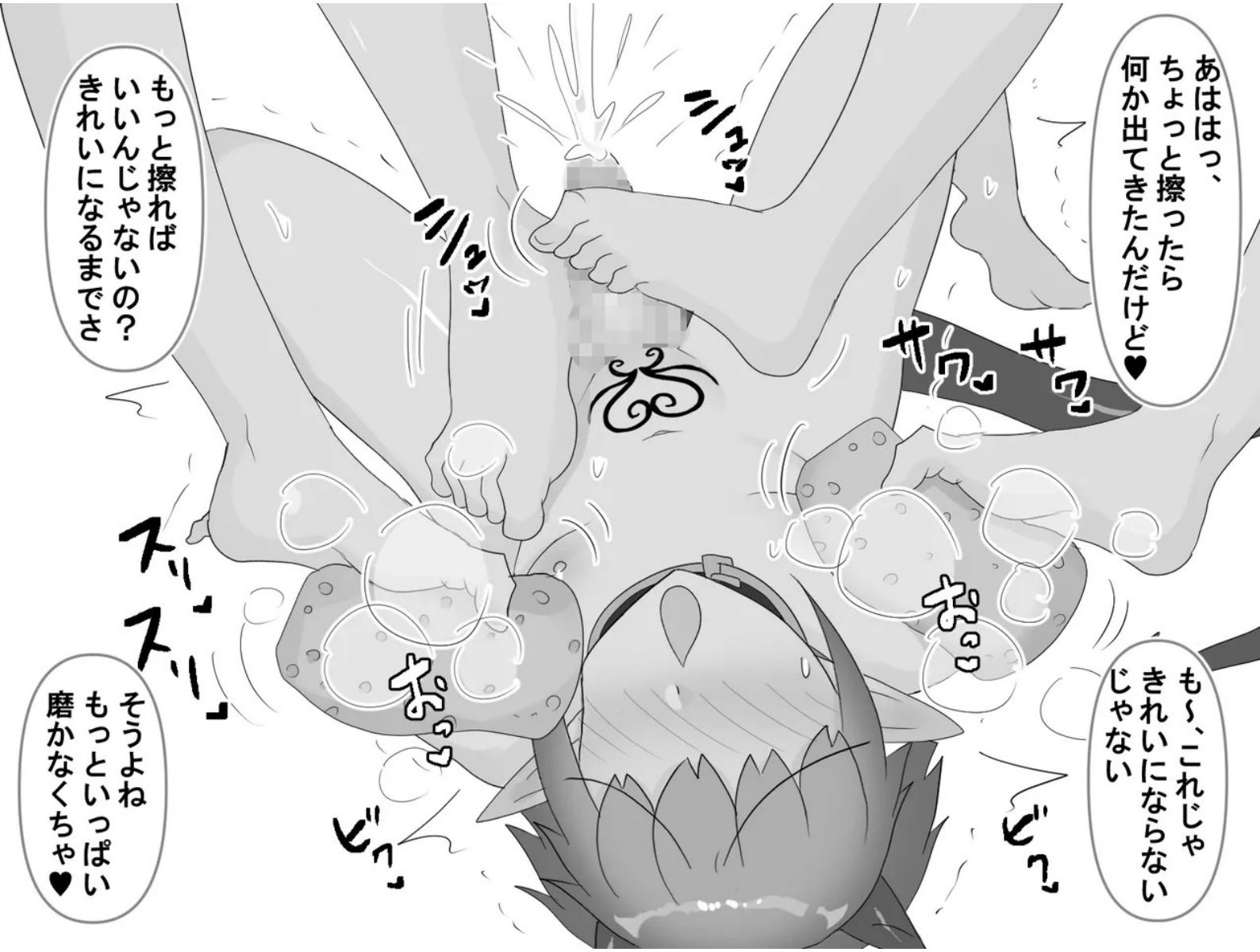


城についてからも、魔王の身体は女たちに弄ばれ続けるのだった。

何とか城にたどり着いても、魔王の苦難は終わらない。



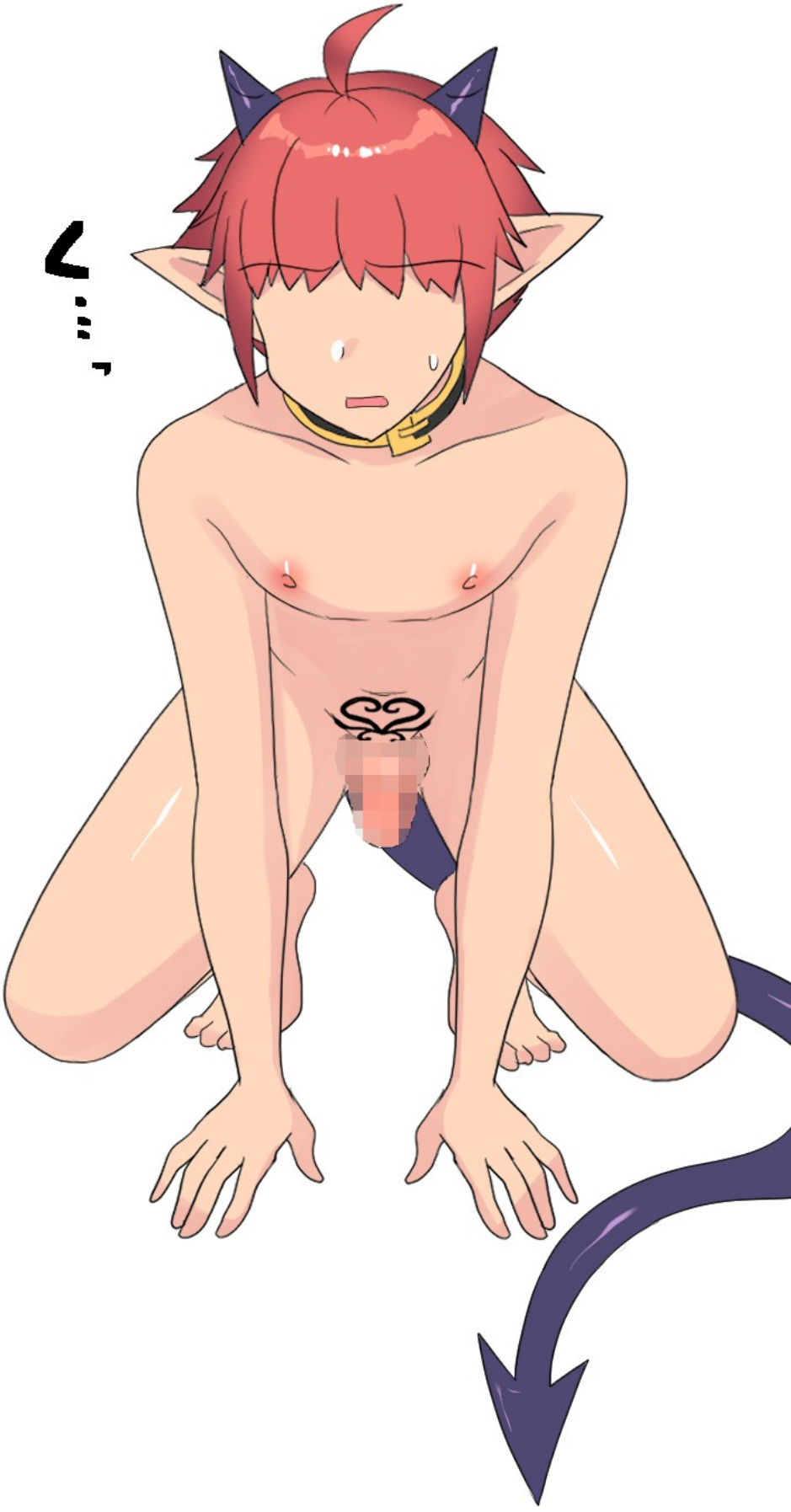

魔物に触るなんて
嫌よね～
こんな子足で十分
こんな所で
おち〇ちん
勃起させてる
なんて
はしたない
これで魔王なの？
やだ、ちょっと
何かビクビクしてない？


あははっ、
ちょっと擦ったら
何か出てきたんだけど♥
も～、これじゃ
きれいにならない
じゃない
もっと擦れば
いいんじゃないの？
きれいになるまでさ
そうよね
もっといっぱい
磨かなくちゃ♥
シュッ
シュッ」
サワ」
サワ」
スリ」
スリ」
ビク」
ビク」
おっ
おっ



城についてからも、魔王の身体は女たちに弄ばれ続けるのだった。

そして、ようやく魔王は王女の前に連行され、謁見することになった。
玉座の前に跪かされた魔王は、弱々しくも王女を睨みつける。



王女の命令で、侍女が魔王の隣に座り、手を股の間に差し入れる。



敵である王女の目の前で射精させられ、屈辱に身体が熱くなる。



しかし、今の魔王にできることなどなにもなく、
ただ辱めを受け入れることしかできないのだった。

そして、ようやく魔王は王女の前に連行され、謁見することになった。
玉座の前に跪かされた魔王は、弱々しくも王女を睨みつける。



王女の命令で、侍女が魔王の隣に座り、手を股の間に差し入れる。



敵である王女の目の前で射精させられ、屈辱に身体が熱くなる。



しかし、今の魔王にできることなどなにもなく、
ただ辱めを受け入れることしかできないのだった。

王女との謁見をすませた魔王は、王城内に幽閉されることになった。
しかし、ただ遊ばせておくのはもったいないので、
対魔物用の魔淫具の実験台として
活用されている。



着脱式の魔淫具は、身に着けるだけで一時的に身体を改造することができる。




乳首を扱いてやる
どうだ？
ち〇ぽのように
敏感に感じるだろう
あっ♥　あっ♥
やっ、やめろっ♥
そんなとこ・・・っ♥
あっ
あっ
ビクッ
シコ
シコ
シコ
シコ
ヒクッ
ヒクッ


あぁぁっ♥
う、うそだろっ♥
イクっ♥　ち、乳首でっ♥
イクぅぅっ♥
ほおおおっ
おおおっ
ビクッ
フリュ
ピュルルッ♡
ピッピュッ
ははは、もう乳首で
イクようになったか
感度も良好だな
この魔淫具を使って
魔物どもを
これからたっぷりと
可愛がってやるからな

魔淫具にはたくさんの種類があり、魔王は毎日実験台にされた。




う、嘘だろっ！
こんな・・っ！
あはは、怖がらなくて
いいんだよ～
ムクムクッ
うあぁっ
ヴィィン
いつもの何十倍も感度が
上がっちゃうけどね～♥


あっ♥
あっ♥
こんなちょっとの
刺激でもすっごく
気持ちいいでしょ～？
ほら、尿道
虐めちゃうよ～♥

魔王に休息が訪れることはないのだった。



魔淫具による実験は、魔淫具の改良の度に行われる。
その都度、より強力、凶悪な快楽が魔王を襲った。

アナルをケツま〇こに作り替える魔淫具を改造したわ♥
真っ先に貴方で試してあげる♥

お尻を虐められるのだぁい好きだものね♥

い…嫌だ…っ！
好きじゃない…っ！




本当？　なら、
何でそんな声が
出てるのかしらぁ？
ひっ♥　おっ♥
ちっ、違っ♥
違わないでしょ？
ケツま〇こで今にも
イキそうなんでしょう？
ウニ
グリ
グリ
ズプ
ズプ
おっ
おっ

魔王としてのプライドは、こんな日々の中でずたずたに傷つけられていくのだった。



魔淫具による実験は、魔淫具の改良の度に行われる。
その都度、より強力、凶悪な快楽が魔王を襲った。

アナルをケツま○こに作り替える魔淫具を改造したわ♥
真っ先に貴方で試してあげる♥

お尻を虐められるのだぁい好きだものね♥

い…嫌だ…っ！
好きじゃない…っ！




本当？　なら、
何でそんな声が
出てるのかしらぁ？
ひっ♥　おっ♥
ちっ、違っ♥
違わないでしょ？
ケツま〇こで今にも
イキそうなんでしょう？
ウニュ
グリ
グリ
ズプ
ズプ
おっ
おっ

魔王としてのプライドは、こんな日々の中でずたずたに傷つけられていくのだった。



村同様、城の中にも男はいない。寂しさを埋めるため、城の女たちはいつしか魔王の身体を使って性欲を処理するようになっていた。




1対多数で、抵抗のしようもなく、魔王は女たちから逆レイプされる。
あはは、ちっちゃいけどおち〇ちんはおち〇ちんだもんねぇ♥
魔物と人間だから妊娠しないし生でできるから♥
ビクン
ズプン

淫紋と日ごろの魔淫具実験のせいで、魔王は性の抵抗力を失いすぐに射精してしまう。



しかし、女たちを全員満足させるまで、魔王は解放されることなくち〇ぽを搾られるのだった。

日ごろから性欲をためていた女たちの欲望はすさまじく、
尽きることがない。

いつ来ても
ち〇ぽを勃起
させおって

稽古の合間に
寄ってやったぞ
たっぷりと
搾り取ってやる



わずかな時間でも、ち〇ぽを休ませる暇はないのだった。


時間がないから
さっさと
済ませないとな
騎乗位で
鳴かせてやる
クク
魔王と言うからには、
あまり早くイッてくれるなよ？
ズニュ
ヌププン
はうン


おや、もう
イッてしまったか♥
こらえ性のない奴だ
だが、まぁいい
こちらは勝手に
楽しませて
もらうとしよう
ニィィ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
プチュ
プチュ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
んおおおおっ
おっ
おっ

王女の命令で進められていた魔淫具開発で、
ついに最強の魔淫具が発明された。



装着すれば、急所に触れただけで魔物を射精させるというものだ。


どう？
この魔淫具♥
気持ちいい？
ヤチッ
あっ
あっ
ヒクヒク
スリ
スリ
さっ、触るなぁっ♥
太ももに触っただけで
おち〇ちん
ヒクヒクしてる♥


ここに触ったらどうなるのかなぁ～♥
ビクン
ひゃあああっ
ソン
ピュルルルン
ビク
あはははっ、出た出た♥触っただけで射精してる～♥
ビク
かわいい～っ♥



この魔淫具を装着された魔物は、
急所を人間に支配されてしまうのだった。

王女は、魔王が心から人間に従順になるまで、この魔淫具を外すことを許さなかった。



魔王は心を入れ替えるまで物のように廊下に展示され、更生の機会を与えられた。


しかし、もちろん何の責めもないはずがない。
あら、こんなところにも汚れが♥
困りますわねぇ♥
またお掃除しなくっちゃ♥
あっ
あっ
ウっっ
スリ、
スリ、
ヤり
ヤり
通りがかりの兵士や使用人、メイドたちは、魔王の更生に協力するため、暇さえあれば身体を弄んで遊んで行った。


おかしいですわぁ♥
擦っても擦っても
汚れるばっかりで♥
あっ♥　あっ♥
やっ、やめろぉっ♥
ち・・乳首は・・・っ♥
ビクン
ひぅうぅ
ゴシ
ゴシ
ゴシ
ピュピュッ
ビクン
ビクン
これじゃあ、
いつまでたっても
お掃除が終わり
ませんわねぇ♥


魔淫具のせいで敏感な体を容赦なく責められ、
魔王は次第に理性を失っていく。
こんなに汚れて…
手伝ってあげるわ
この持ち場が終わらないと、
次にいけないもの
でも、もしかしたら、
1日中かかっても
きれいにならないかも
しれないわね
なら1日中
ここで
磨いてましょう♥
おほおおお
ガク」
ブピュルルルッ」
ゴシゴシ
ズプ
ズプ
フン
激しい快楽地獄から解放されるのなら、何をかなぐり捨てても構わないと思えるほどに、
身も心も蹂躙されていくのだった。

王女は、魔王が心から人間に従順になるまで、この魔淫具を外すことを許さなかった。



魔王は心を入れ替えるまで物のように廊下に展示され、更生の機会を与えられた。

しかし、もちろん何の責めもないはずがない。



通りがかりの兵士や使用人、メイドたちは、魔王の更生に協力するため、暇さえあれば身体を弄んで遊んで行った。


おかしいですわぁ♥
擦っても擦っても
汚れるばっかりで♥
あっ♥　あっ♥
やっ、やめろぉっ♥
ち・・乳首は・・・っ♥
これじゃあ、
いつまでたっても
お掃除が終わり
ませんわねぇ♥
ビクン
ひぅうぅ
ゴシ
ゴシ
ゴシ
ピュピュッ
ビクン
ビクン



激しい快楽地獄から解放されるのなら、何をかなぐり捨てても構わないと思えるほどに、
身も心も蹂躙されていくのだった。

魔王は、永遠とも思える快楽地獄に音を上げ、ついに人間に
服従することを誓った。
王女は、完全に服従した奴隷でないと
身の回りに置けないために、
一度も魔王のち〇ぽを試してはいないのだ。




ほう、小さいがなかなかよいな
では、好きに動かせてもらうぞ
ビクン
うぁっ
ズプン
あっ♥
…あぁっ♥


フン、もう射精しおったか♥
しかし、まだまだ硬いな♥
存分に中に出してよいゆえ、
わたくしが満足するまで、
しっかり奉仕するのだぞ♥
ガム
ガム
あがあああ
ビク
ビクン
ビク
ビク
ビク
ウフフ
パン
パン
パン
パン
ブム
ブムッ
ビク
ビク

なんとか王女に気に入られた魔王は、めでたくペットとして飼われることになった。



魔淫具も完成したことで、以前のように苦痛を伴う射精地獄も味わわなくていい。魔王は今の身分に満足していた。

おまけに、毎日豊満な肉体で性欲を満足させてもらい、いう事なしだ。



魔王は、今後王女の性欲を処理するためだけのペットとして一生を終えるのだった。



なんとか王女に気に入られた魔王は、めでたくペットとして飼われることになった。



魔淫具も完成したことで、以前のように苦痛を伴う射精地獄も味わわなくていい。魔王は今の身分に満足していた。

おまけに、毎日豊満な肉体で性欲を満足させてもらい、いう事なしだ。



魔王は、今後王女の性欲を処理するためだけのペットとして一生を終えるのだった。

